

平成 28年 4月 20日

2008年度「地域に根ざした遺伝カウンセリング体制構築に向けての検討」研究参加者の皆様

質問紙調査データの二次利用に関するお願い

拝啓

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

現在、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻(修士課程)に在籍しております、永野明子と申します。現在、「地域の遺伝に関する認識調査と遺伝カウンセリング体制の検討」をテーマに、調査を計画しております。

近年、遺伝医療の目覚ましい発展により、“遺伝子診断”“遺伝子治療”“出生前診断”などが可能となり、個々に応じたよりきめ細かい医療が提供されつつあります。一方で一般市民にとっては、遺伝医療に対する過度な期待や根拠のない不安などが錯綜している状態におかれています。

今回、家族会等の学習会、研修会の参加者に対して質問紙調査を行い、地域において遺伝がどのように認識されているかを調査し、2008年度の状況と比較検討を行いたいと考えております。

そこで、2008年度「地域に根ざした遺伝カウンセリング体制構築に向けての検討」で使用された質問紙調査の研究成果・データを使用させて頂きたく、ここにお願い申し上げます。

本研究を行うことにより、社会変化に伴い地域住民の意識の変化が生じているのか明らかにし、そして地域であるべき遺伝カウンセリングの体制づくりの検討に役立てたいと考えております。

2008年度に実施された「地域に根ざした遺伝カウンセリング体制構築に向けての検討」で得られたデータベースは、論文発表された2011年から5年経過するまでの期間を目途として保管されています。

データの二次利用について不都合あるいはご意見がある場合には、お手数ですが、下記連絡先までご連絡いただきたくよろしくお願い申し上げます。

なお、本調査研究結果は修士課程学位論文としてまとめる予定であることを申し添えます。

敬具

研究者：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座

遺伝看護・遺伝カウンセリングコース

修士課程2年 永野 明子

研究責任者：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座

教授

宮原 春美

連絡先：〒852-8520

長崎県長崎市坂本1-7-1 医学部保健学科

電話番号 095-819-7954

E-Mail spring@nagasaki-u.ac.jp